



# 99306 ISolate Concentrate

510(k) アイソレイト原液

容量: 100mL

## 【使用目的】

目的とする濃度に稀釀して単層または多層で使用。

## 【特長】

Percoll®の原液の密度とほぼ同等の密度。

## 【品質確認試験】

ロットごとにpH、Osmolality、Sperm Survival Assay、Rabbit Pyrogen Test(ウサギ発熱性試験)、無菌性が試験される。

## 【2層法で使用する際の Upper layer(上層 50%)、Lower layer(下層 90%)の調製方法 \*】

\* 5 検体分。

### Upper layer (50%)

- 滅菌済みピペットで4.5 mLの本培地を滅菌済みのコニカルチューブに移す。
- 滅菌済みピペットで5.5 mLの Modified HTF Medium(カタログ番号90126)を上記1の本培地に加える。
- コニカルチューブのフタをしめ、3から4回ゆっくり転倒混和して溶液を完全に混合する。
- コニカルチューブにUpper layerと記入する。

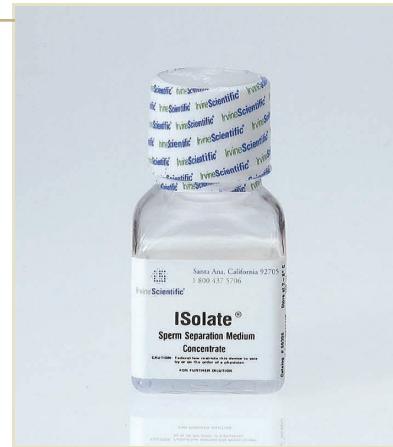
### Lower layer (90%)

- 滅菌済みピペットで8.1 mLの本培地を滅菌済みのコニカルチューブに移す。
- 滅菌済みピペットで1.9 mLの Modified HTF Medium(カタログ番号90126)を上記1の本培地に加える。
- コニカルチューブのフタをしめ、3から4回ゆっくり転倒混和して溶液を完全に混合する。
- コニカルチューブにLower layerと記入する。

## 【単層法での使用方法】

ISolate Stock Solution(カタログ番号99275)

参照※p.28



## 【2層法での使用方法】

ISolate(カタログ番号99264)参照※p.27

【保存温度】 2-8°C

【有効期間】 製造後2年

## 【使用上の注意】

異物の混在や溶液にコンタミネーションのような不均一な濁りがみられた場合には使用しないこと。

使用前に室温または37°Cに加温すること。

CO<sub>2</sub>インキュベーター内で使用する場合は、pHが変化しないよう容器のフタを固く閉め、気相の交換が起きないようにすること。抗生物質、タンパク質のサブリメント、防腐剤は添加されていない。抗生物質を添加する場合は、アナフィラキシーを引き起こす可能性のあるものは使用しないこと。

凍結したり高温にしないこと。

## 【参照文献】

ISolate(カタログ番号99264)参照